

ネットワークの開通を待たずに 現場入りした瞬間から 本社と遜色のない 事務所が誕生しました！

株式会社オノコム 経営企画部 iteams 杉浦裕介さん



事業概要

株式会社オノコム

1934年に創業した総合建築会社。住宅からマンション、オフィスビル、工場、病院等の医療空間まで、あらゆる種類の建築に携わり、成長を続ける。

導入パートナー(Google Apps 正規販売代理店)

株式会社電算システム

2006年よりGoogle製品に注力。Google Appsの導入・運用サポートのための豊富な知識、安定した支援と技術力に定評あり。
<http://www.web-dsk.net/google/>

Google Apps について

Google Apps for Business は、クラウドの価値を実感できる、画期的なホスティング型オフィス・スイート。1人25GBの大容量メールボックス、会議への招集も簡単なカレンダー、1つのドキュメントをオンラインで共有しながらのレビュー、誰でも簡単に立ち上げられるサイト、急ぎの用件や確認に便利なチャット、円滑なリモートワークを実現するビデオ通話、動画の投稿や共有、そして強力無比の検索などなど。Google Apps for Business には、社内情報を共有・管理し、最大限に活用するさまざまな機能がセットされています。しかも、費用は1ユーザーあたり年間6000円。IT部門の管理者は、サーバー需要の増加、メンテナンス作業、セキュリティ対策などに悩む必要もありません。

詳細は <http://www.google.co.jp/a> まで

*すべての企業名及び製品名は、該当する企業の商標または登録商標です。

導入前の状況

ネット環境が整うまで1～2週間。建築現場の事務所スタッフの苦労たるや……。

弊社は、設計・デザインから建築全般までを行なう総合建築会社です。Google Apps for Business の導入以前は、建築現場が決定すると、まずは担当者が現場に行って調査を実施し、その業務と同時並行でADSLに申し込み、ネットワークの開通まで1～2週間待ちながら、現場に事務所を建てるといったスタートアップを行なっていました。

長い現場だと半年以上、平均すると数カ月単位で現場に常駐しなくてはならないということは、現場の事務所にも、本社と同様のインフラが必要になることを意味します。しかし、実際には、ネット環境が整うまでは、メールをチェックするためにその都度、現場近くに借りているアパートに戻ることも少なくありませんでした。

そんな理由から、どこからでも文書確認ができる共有フォルダとして別のグループウェアを使っていましたが、使い勝手という意味では、満足できるものではありませんでした。加えて、ローカルPCにデータを溜め込んでしまうと、万が一クラッシュした時が大変です。

効率的な業務フローの構築には、現状をどう打破すべきか。そういったことを考えていた時に出合ったのが、クラウドサービスを有するGoogle Apps for Business だったわけです。

導入の経緯

セミナーに参加して話を聞いたことで今より効率的に業務ができることがわかりました。

実際に契約したのは、2年半前のこと。最初の1年は、メールとカレンダー機能を主に活用しました。現在のように、ドキュメントやサイト、ドライブなどのサービスをフル活用しはじめたのは、1年半からです。

導入にあたって他社との比較検討もしましたが、セミナーに参加し話を聞いたことで、近い将来、メールやカレンダーにとどまらないサービスを使いこなせば、現場に常駐するスタッフたちの業務が今にも増してずっと効率的になると考えました。

Google Apps for Business が良かったのは、コストパフォーマンスに優れていることに加えて、モバイルWiFiやスマートフォン、iPadなどのモバイル端末と組み合わせると、利便性が増して、とてもパワフルに使えることです。現場で業務を行なうことの多いスタッフたちのことを鑑みるにつけ、これはとても魅力的でした。

さらにセキュリティ面での安心感も、導入の後押しになりました。もしもハードを無くしてしまっても、クラウド上にデータが残っていること、アカウントをすぐにロックできることも便利ですね。

導入後の効用

新しい提案を生み出すためのコミュニケーションが生まれました！

メールとカレンダー機能は言うに及ばず、現在は社員の大多数がドキュメントやサイト、ドライブを駆使して業務にあたっています。

まずはドキュメント。進歩的なチームは、事前に議題やテーマを書き、会議中はプロジェクターや写真、動画などを用いて話し合い、現場の様子はライブカメラで中継し、同時並行でドキュメント内に議事録を書き込みながら、会議を行なっています。話し合われた内容はリアルタイムでドキュメントに書き記されていくので、誰もがモバイル端末やタブレットPCで、必要な情報をいつでも共有できるようになりました。

サイトは、チームや個人の報告書として機能するドキュメントのような使い方ではなく、社内標準となっている文書やマニュアルのダウンロードサイト的な使い方をしています。たとえば、現場スタッフが常時必要な役所に提出する書類を組み込んでおくといった感じです。

ドライブは、パソコン上のファイルをマイドライブに同期することで、出先でいつでもデータ確認ができると、こちらも社員から好評です。

今後は、支社や全国の現場とさらなる連携を図るべく、オンライン上に手作りのシステムを構築していければと思っています。